

指導方法等の改善計画について (国語科)

尾道市立因北中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.8%, 県 69.2%)

対県比 101.9%

学力定着実態調査 本年度正答率

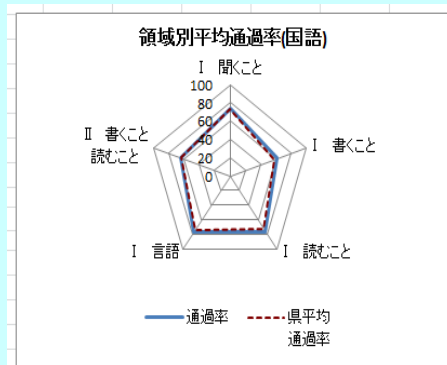
本校 76.7%
全国 73.5%

対全国比 103.2%

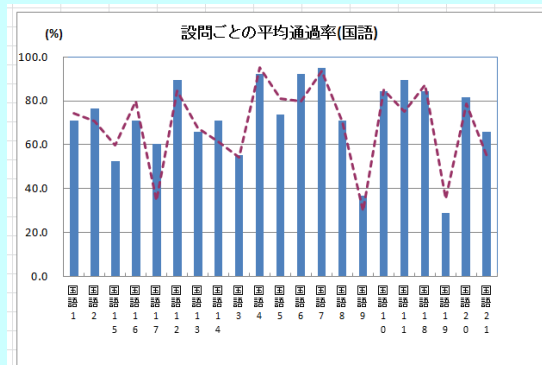
本年度の結果について

【基礎基本】タイプIは73.4%、タイプIIは65.1%の通過率となっている。タイプIにおいては、小3の漢字の書き(始動)の通過率が36.8%と低い。また、要旨の把握に関する問題は、通過率が28.9%と、県平均に比べて7%下回る結果となった。
【全国学力】【国語 A】「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てる」問題の正答率は45%であった。また、【国語 B】「文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つこと」の正答率は51%であった。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 75.0%
全国 77.4%
県 78.0%

B問題

本校 72.0%
全国 72.2%
県 73.0%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 100%

重点課題

課題1【書く】

- ▼要旨の把握 (28.9%)
- ▼「文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つこと」(51%)
⇒文章全体を読み、おおまかな内容を捉え、文章のポイントを押さえることができるように指導することが必要である。そうした上で、内容に対する自分の考えを持ち、根拠を持って表現できる力を育成する必要がある。

課題2【言語】

- ▼小3の漢字の書き(しどう「始動」)(36.8%)
⇒昨年度の課題を踏まえて、小学校6年生の漢字の習得には力を入れてきた。本年度は、小学校6年間の学習漢字に関する反復練習を実施していきたい。また、同音異義に関する誤答は定期試験でも目立つ。文脈を読み取り、正しい漢字が選択できる力を育成する必要がある。

指導上の課題の改善方法 (現在扱っている単元において)

課題1 (目標値 60%)

【説明的文章】

『君は「最後の晩餐」を知っているか』…各段落のキーセンテンスに線を引かせることで、段落の役割や文章全体の内容を捉えさせる。また、字数・時間制限を与えて内容を要約させることで、短時間で要旨を捉える力の育成を目指す。

【条件作文】条件作文(図表、文章等の読み取り)を月1回程度書かせることで、「何が適切な根拠となるか」を捉えさせる力と、その根拠に基づいた考えを記述する力を育てる。また、条件を読み取る際に、重要だと判断した箇所には必ず線を引く習慣をつけさせる。

課題2 (目標値 60%)

【漢字】家庭学習では、新出漢字の書き取りのみをさせるのではなく、小学校6年間の漢字の定着を図る。また、漢字テストは、短文ではなく、文章の中から出題することで、文脈に沿った読み取りによる漢字選択の力を育成する。

「基礎・基本」定着状況調査	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	期末テスト	夏休み課題		中間テスト		期末テスト		1年H29「基礎・基本」プレテスト	
目標値				65%		65%	%	タイプII 70%	%
取組の重点	基礎的・基本的な知識を習得する学習			得た知識を基に考えを深める学習			根拠をもとに考えを伝える学習		

全国学力・学習状況調査	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	期末テスト	夏休み課題	実力テスト 3年夏休み課題テスト	中間テスト				2年H29「全国学力」プレテスト	
目標値				65%		%		B問題 72%	%
取組の重点	得た知識をもとに考えを深め、交流する学習				考えを伝えるための文章や一つ一つの言葉を工夫する学習				